

国際的な深海掘削プロジェクトの主力船 『1/700 地球深部探査船 ちきゅう』

2012年11月23日（金）発売

“知の魅力”を伝える理工系プラモ『Exploring Lab.』シリーズ第4弾
世界最高レベルの掘削能力を持つ探査船が1/700スケールの精密プラモデルで登場！

株式会社バンダイ（社長：上野和典、本社：東京都台東区）は、“知の魅力”を伝える理工系プラモデルシリーズ『Exploring Lab.（エクスプローリング・ラボ）』（※3頁参照）の第4弾として『1/700 地球深部探査船 ちきゅう』（5,985円／税込）を2012年11月23日（金）に発売します。

『1/700 地球深部探査船 ちきゅう』は、独立行政法人海洋研究開発機構（以下、「JAMSTEC」）が、地球の内部構造の解明などを目的として開発し運航している科学掘削船「ちきゅう」を、1/700スケールでプラモデル化した商品です。

商品開発にあたっては、JAMSTEC 全面監修のもと、「ちきゅう」のシンボルでもある巨大なやぐらから、海底まで伸びる一連の掘削システムをはじめ、クレーンや甲板上のパイプなども精細なディテールで再現しました。7色のパーツにより、塗装無しでも基本的なカラーを再現しています。

本商品の主なターゲットは、海洋科学や最先端技術に関心のある全世代で、主な販売ルートは、全国の模型店、玩具店、大型雑貨店、家電量販店、ネット通販などです。

「ちきゅう」とは…人類史上初めてマントルや巨大地震発生域への大深度掘削を可能にした世界初のライザー式科学掘削船で、統合国際深海掘削計画（IODP）の主力船として地球探査を行っています。巨大地震発生のしくみ、地球規模の環境変動、地下生命圏、新しい海底資源の解明など、人類の未来を開く様々な成果をあげることを目指しています。2012年には、東北地方太平洋沖地震震源地の断層サンプルの回収や、世界記録となる海底下2,466mからのサンプルを採取、新たな海洋資源として注目されるメタンハイドレートの試掘などで活躍。現在も南海トラフの地震域の調査を行なっています。

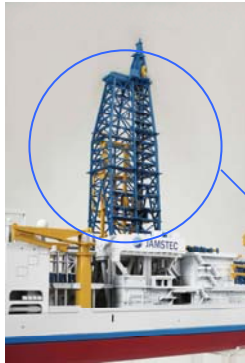


『1/700 地球深部探査船 ちきゅう』（5,985円／税込）

『1/700 地球深部探査船 ちきゅう』の主な特徴

■ 精細なディテールを再現

細部まで再現された掘削やぐら“デリック”



デッキクレーンや甲板上の掘削用のパイプなども精密に再現



■ 外装パーツの着脱により内部構造を確認可能

「ちきゅう」心臓部である掘削システムや研究施設のディテールを、組み立て後も一部パーツの着脱により確認ができます。



↑ 脱着前



↑ 脱着後



全長：300mm

■ ディスプレイ台座付属

専用台座による掘削時のイメージディスプレイが可能。

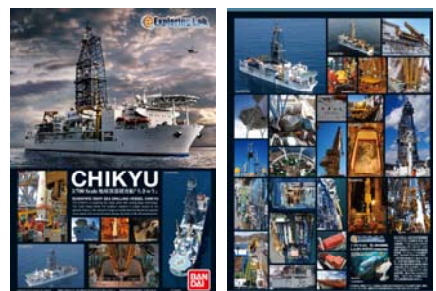


■ 商品パッケージ



■ 充実の組立説明書が付属

28 ページからなる組立説明書では、「ちきゅう」の機能や、掘削プロジェクトの歴史などを解説。図解絵師モリナガ・ヨウ氏描きおろしの解説イラストも収録。JAMSTEC のスタッフが監修しました。



“知の魅力”を伝える理工系プラモ

『Exploring Lab.(エクスプローリング・ラボ)』シリーズとは

“科学工学”に焦点をあてたバンダイのプラモデルシリーズ。細かなディテール、ギミックを可能な限り再現し、リアリティを追求することをコンセプトにしています。

第1弾商品として2011年9月に『1/10 ISS船外活動用宇宙服』(6,300円/税込)(写真右)、第2弾、第3弾として2012年1月と8月に『1/48有人潜水調査船しんかい6500』(5,040円/税込)(写真左)の新旧両タイプを発売。

10代~50代までの幅広い層のお客様にご購入いただいています。



©JAMSTEC



【商品概要】

- ・商品名：1/700 地球深部探査船 ちきゅう
- ・価格：5,985円(税込)
- ・発売日：2012年11月23日(金)
- ・販売ルート：全国の模型店、玩具店、大型雑貨店、家電量販店、ネット通販など
- ・対象年齢：15歳以上
- ・サイズ：長さ300mm×高さ186mm(完成時、台座部分含まず)
- ・商品内容：成形品、組立説明書
- ・付属品：水転写デカール、専用ディスプレイ台座、ホイルシール
- ・総パーツ数：327パーツ(うち本体用パーツは317)

※本リリースの画像の一部は塗装しています。

※本リリースの画像は試作品であり、実際の商品とは多少異なります。

バンダイホビーサイト：<http://bandai-hobby.net/>

バンダイホームページ：<http://www.bandai.co.jp/>